

修善寺駅周辺まちづくり基本構想

令和5年7月

伊豆市

修善寺駅周辺地区のまちづくりの検討と (主) 伊東修善寺線の改良

■修善寺駅周辺地区の位置づけ

- ・本地区は、大正13年の修善寺駅の開設以降、鉄道による伊豆の玄関口として発展し、昭和期の駅北側の土地区画整理事業や平成期の修善寺駅周辺整備事業など駅周辺整備を進めてきました。
- ・令和3年には、第2次伊豆市総合計画基本構想における修善寺駅周辺将来構想に商業エリアと位置づけ、「本市の玄関口として、駅周辺の利便性を活かし、良好な景観を誘導するとともに、駅西口広場や空き店舗の活用を推進することにより、多様な交流やにぎわいを創出する」こととしています。



図出典：「第2次伊豆市総合計画 基本構想・後期基本計画」

■ 検討経緯

- ・ 修善寺駅周辺のまちづくりに関し、令和4年4月に開催された修善寺駅前区タウンミーティングと、伊豆市から静岡県への要望等を経て、静岡県による主要地方道伊東修善寺線（修善寺駅前区間）拡幅の検討を開始しました。
- ・ 本構想は、県道拡幅の整備効果を活かし、多様な交流とにぎわいを創出するまちづくりを進めるため、地域住民、商業、バス・タクシー等の事業者の皆さんと意見交換を行った結果をふまえて駅周辺まちづくりを検討し、基本構想としてまとめたものです。

意見交換の実施概要

回数	時期	内容
第1回	12月8日	・ まちの課題の洗い出し ・ 地区の住民、通学や通勤・買物で来る市民、観光客等にとって解決したいこと
第2回	2月2日	・ 道路・交通・広場などの望ましいあり方 ・ 第1回で出た課題の解決のために整備すべき場所、まちのあり方
第3回	3月2日	・ 道路等の整備と交流・賑わいづくり ・ 考えられる整備内容とメリット・デメリット、道路整備と合わせた交流・賑わいづくり

市による 検討

修善寺駅周辺のまちづくり基本構想

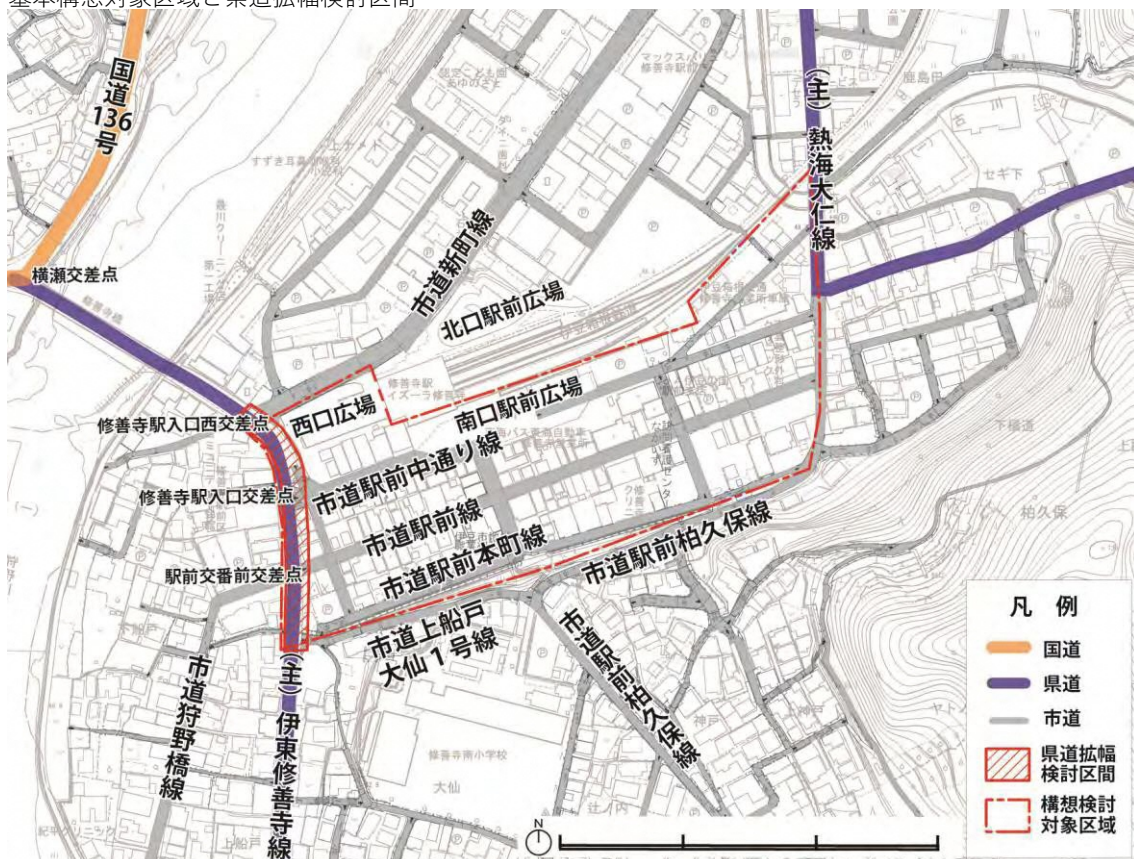
意見交換の様子



■修善寺駅周辺まちづくり基本構想対象区域と県道拡幅検討区間

- ・ 本構想は、下図の県道拡幅検討区間に対して、（主）伊東修善寺線から（主）熱海大仁線までの修善寺駅の南側の区域を対象として検討しています。
- ・ 本地区には、（主）伊東修善寺線に接続する道路として、市道新町線、市道駅前中通り線、市道駅前線、市道駅前本町線などの市道があります。
- ・ これらの市道は、東側の（主）熱海大仁線に通り抜けられる道路であるため、（主）伊東修善寺線の渋滞を避けるための三島方面⇄伊東方面の通過交通も発生しています。
- ・ 修善寺駅の北口には一般車の交通広場、南口には伊豆半島の東伊豆、西伊豆、南伊豆方面に発着するバスやタクシーの交通広場、西口には歩行者の広場があります。
- ・ 本地区の周辺には小中学校や高校があり、地区内の市道は通学路として利用されています。
- ・ こうしたことから、（主）伊東修善寺線の拡幅にあたっては、接続する市道の拡幅や付け替えの必要、それに伴う公共交通の通行ルートや通学路など歩行者空間への影響があるため、県道整備と合わせた駅周辺の交通利便性の向上、安全で快適な歩行者空間の確保、交流や賑わいを創出するまちづくりを検討します。

基本構想対象区域と県道拡幅検討区間





(主) 伊東修善寺線の渋滞



修善寺駅入口交差点



市道駅前中通り線の通学風景



市道駅前中通り線の通学風景



修善寺駅南口駅前広場



修善寺駅バス停



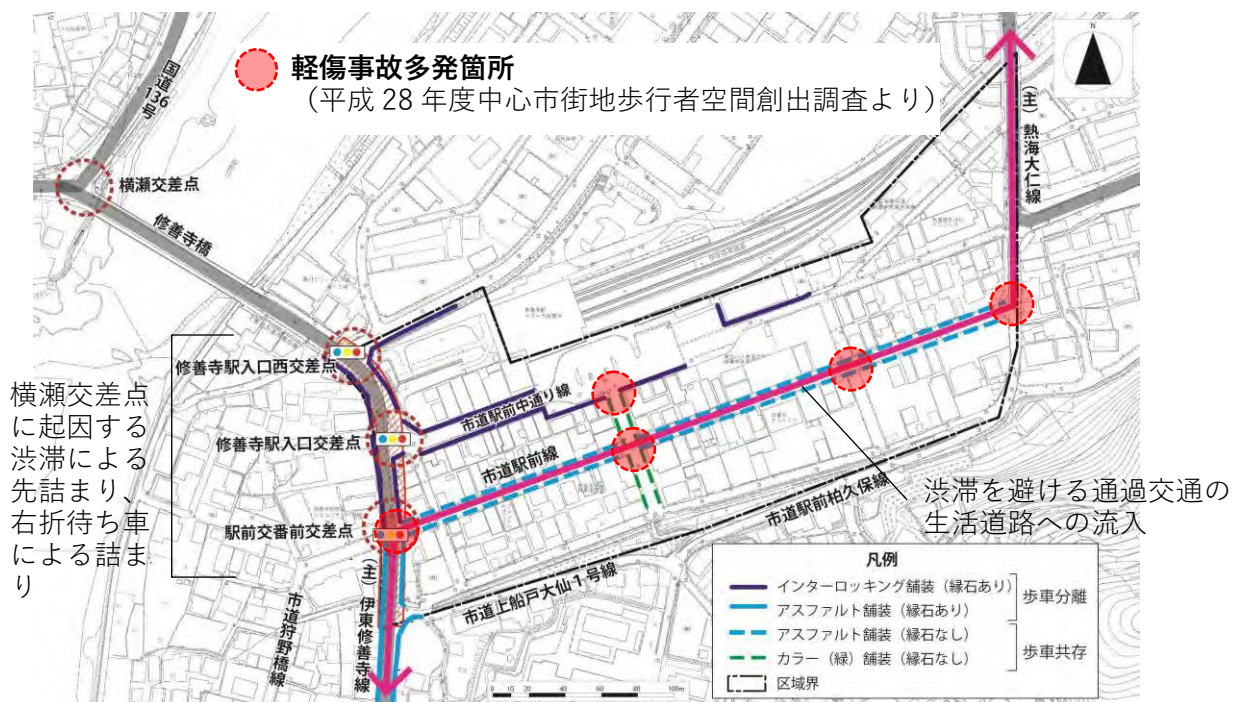
現況の西口広場

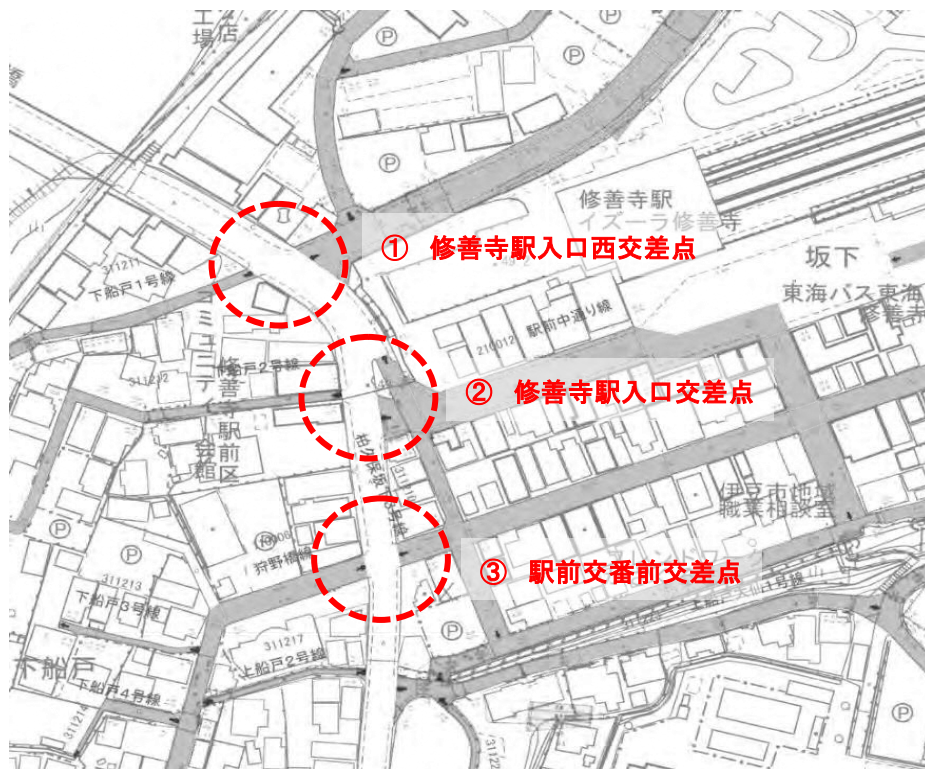


現況の市道駅前線の沿道の街並み

■現状と課題

- ① 第2次伊豆市総合計画基本構想における修善寺駅周辺将来構想で、修善寺駅周辺は伊豆市の玄関口として位置付けられており、公共交通の利便性向上、にぎわい創出に加え、歩行者の安全確保も必要です。
- ② 横瀬交差点に起因する慢性的な渋滞が生活、観光、経済活動への大きな支障になっており、総合的かつ抜本的な対策が必要です。
- ③ （主）伊東修善寺線では、横瀬交差点の渋滞長による詰まりに加え、修善寺駅周辺交差点の右折待ち車両による詰まりもあり、修善寺駅入口西交差点～駅前交番前交差点の直進以外の円滑な交通処理（拡幅、右折車線）が必要です。





(主) 伊東修善寺線の連続する交差点 位置図



- ① 修善寺駅入口西交差点
 - ② 修善寺駅入口交差点
 - ③ 駅前交番前交差点
- (令和4年11月21日(月)14時台)

■まちづくりの目的

- ・ 本構想は、①の歩行者の安全性の向上と玄関口としてのにぎわい創出を第1の目的とし、そのために必要な②（主）伊東修善寺線の渋滞解消と③道路交通の円滑化をまちづくりの目的とします。

- ① 修善寺駅周辺の歩行者安全性向上、玄関口としての賑わい創出
- ② 修善寺駅周辺の都市活動の支障となっている横瀬交差点に起因する渋滞の解消
- ③ （主）伊東修善寺線の修善寺駅周辺の交差点改良（右折車線等）による道路交通の円滑化

■目指す将来像

- ・ 交通結節点である修善寺駅周辺は、歩行者・自転車利用者・駅利用者、バス・タクシー等の公共交通、地元車両や通過交通も含めた道路交通が、安全、快適に共存し、賑わいが生まれるまちを目指します。

<歩行者・自転車利用者・駅利用者>

- ・ 市民が安全に通勤・通学できるまち
- ・ 市民、観光客が快適に滞在でき、玄関口としての賑わいが生まれるまち

<公共交通>

- ・ 鉄道とバス、タクシーが乗り換えしやすいまち
- ・ バス、タクシーが安全・円滑に発着でき、便利なまち

<道路交通>

- ・ 通過交通と地元車両が適切にすみ分けるまち
- ・ 車両はゆっくり安全運転で歩行者と共存するまち

<新たなモビリティ>

- ・ グリーンスローモビリティなど多様な移動サービスが利用しやすいまち

■まちづくりの方針

①【賑わい】商業・観光の拠点としての賑わい創出

公共のオープンスペース（広場、歩道）と絡め、土地や建物の柔軟な利活用を促します

②【交 通】伊豆市の玄関口・交通結節点としての機能強化

鉄道の終着駅である利点を最大限に活かした公共交通空間に再編します

③【道 路】各道路の役割の明確化（主要幹線、補助幹線、生活道路等）

道路拡幅や交差点改良を進め、信号現示や交通規制のあり方も見直します



ウォーカブルなまちのイメージ（国土交通省資料）

2

修善寺駅周辺まちづくりと（主）伊東修善寺線等の整備のあり方

- ・ 修善寺駅周辺のまちづくりは、（主）伊東修善寺線の拡幅や修善寺橋の改良（拡幅）など幹線道路の整備と連携を図り、短期から中長期まで各段階で必要かつ効果的な道路・交通環境の整備を進めていくことが重要です。

■短期のあり方（修善寺橋の改良（拡幅）まで）

- ・ 短期は、県道拡幅と合わせて、道路の段階構成に応じた交差点の改良を行うとともに、歩行者と公共交通を優先して安全で快適な駅前広場や道路空間を創出します。

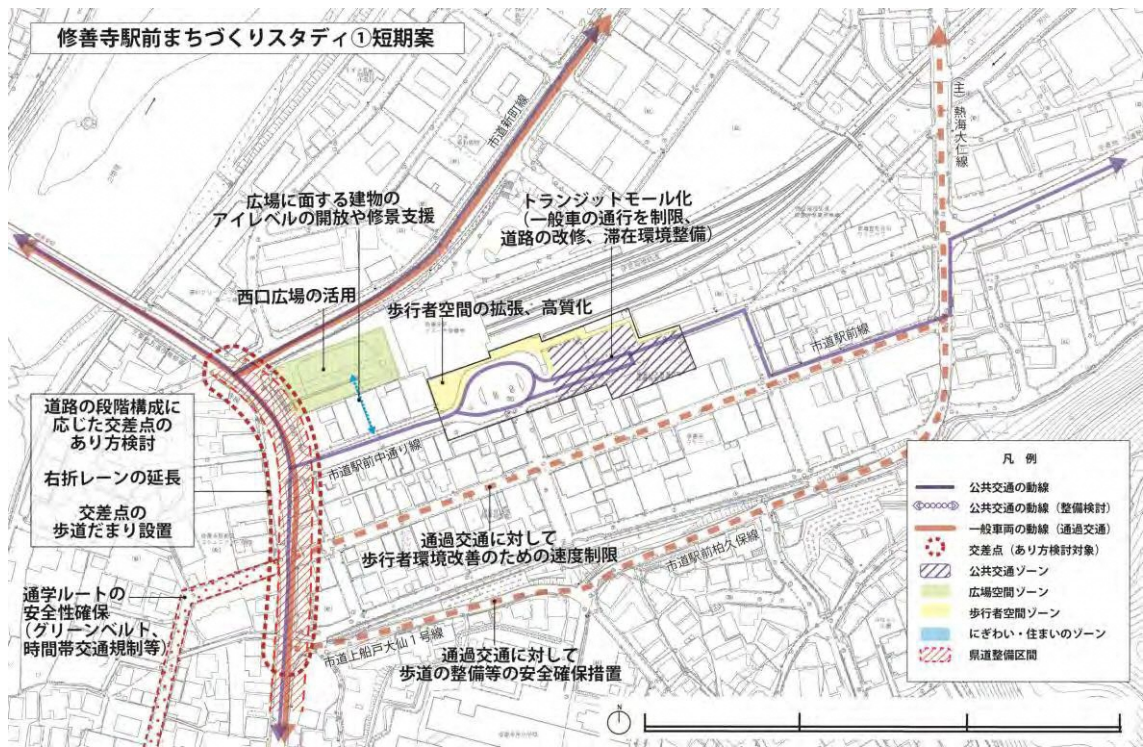
<（主）伊東修善寺線等の主要な道路整備の概要>

- ・ 修善寺駅入口西交差点から市道上船戸大仙1号線交差点の拡幅、右折車線整備（渋滞解消）
- ・ 修善寺駅入口西交差点の改良（大型車の円滑な右左折）
- ・ 歩道拡幅、危険箇所の対策（新中学校想定通学ルート of 安全確保）

<修善寺駅周辺地区のまちづくり>

整備案	道路整備 交通規制	・ 「市道駅前線」と「市道駅前柏久保線・市道上船戸大仙1号線」は、通過交通の進入に対し、通過交通に対する歩行者の安全対策（拡幅、規制等）を検討・推進する。 ・ 市道駅前線は、ゾーン30による速度規制、路面標示やポストコーン設置（車両の速度抑制）により、歩行者の安全を確保する。 ・ 市道上船戸大仙1号線は道路拡幅・歩道整備を検討・推進する。
		・ 市道駅前中通り線と南口駅前広場への一般車両流入抑制のため、（主）伊東修善寺線から市道駅前中通り線への一般車両右折禁止（バス・タクシー、沿道許可車両は可）を検討。
	公共交通 広場等	・ バス乗り場等のトランジットモール化（公共交通と歩行者優先の空間配分・交通規制）
	信号・ 交差点	・ 修善寺駅入口交差点の信号のあり方検討
整備効果		・ 南口駅前広場における歩行者と公共交通の安全性・利便性の向上 ・ 西口広場と市道駅前中通り線の連続性向上とイベントの周辺への賑わい波及
実現上の課題		・ 市道駅前線における歩行者の安全対策実施に係る近隣住民の理解 ・ 交通規制（右折禁止、カラー舗装での歩車区分等）に係る交通管理者（警察）との協議調整

短期（修善寺橋の改良（拡幅）まで）のまちづくり構想図



■中長期のあり方（修善寺橋の改良（拡幅）と同時期）

- ・ 中長期では、修善寺橋の改良（拡幅）と合わせて、駅周辺の交通広場やオープンスペースの再編、再整備を行い、玄関口としての乗り換え利便性の向上や魅力的な滞留空間の創出を図ります。
- ・ あわせて、老朽化や空き家・空き店舗化が進む建物の集約や共同建て替えなども含めた土地・建物の利活用を進め、玄関口としての都市機能の集積や賑わいの創出を図ります。
- ・ これらは、修善寺橋の改良（拡幅）の検討と十分に連携を図りつつ、可能な部分から早期着手を目指します。

<（主）伊東修善寺線等の主要な道路整備の概要>

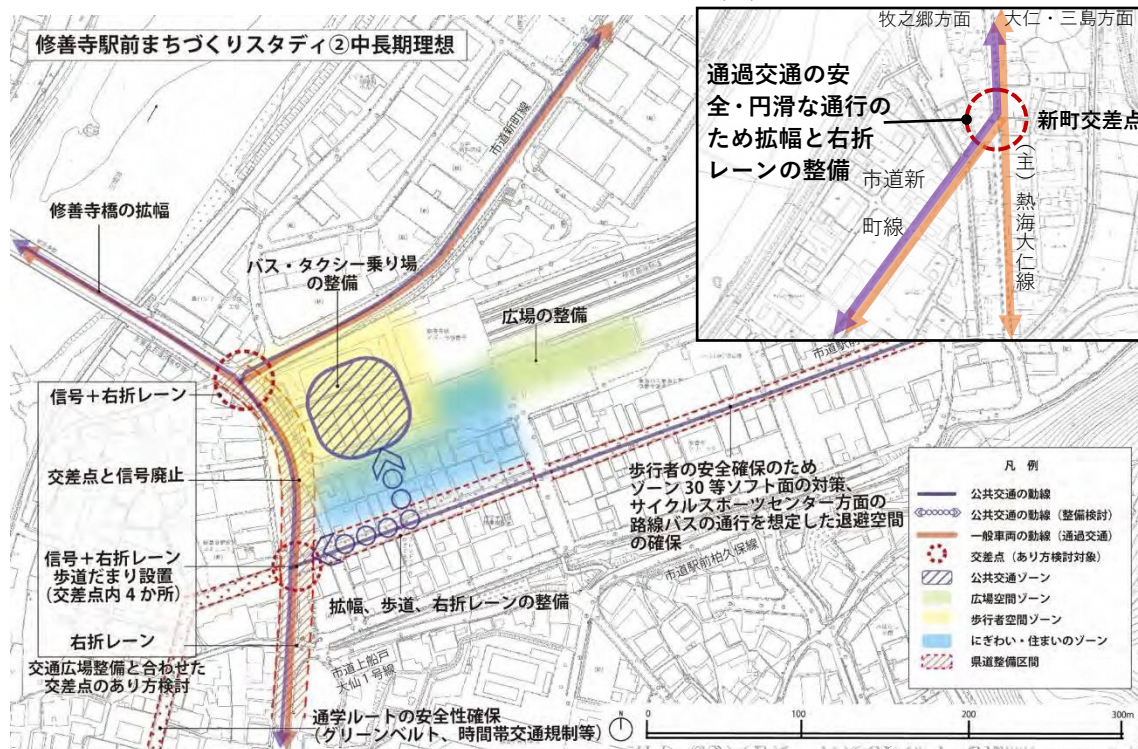
- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 修善寺橋の改良（拡幅） ・ （主）熱海大仁線 新町交差点の改良 |
|--|

<修善寺駅周辺地区のまちづくり>

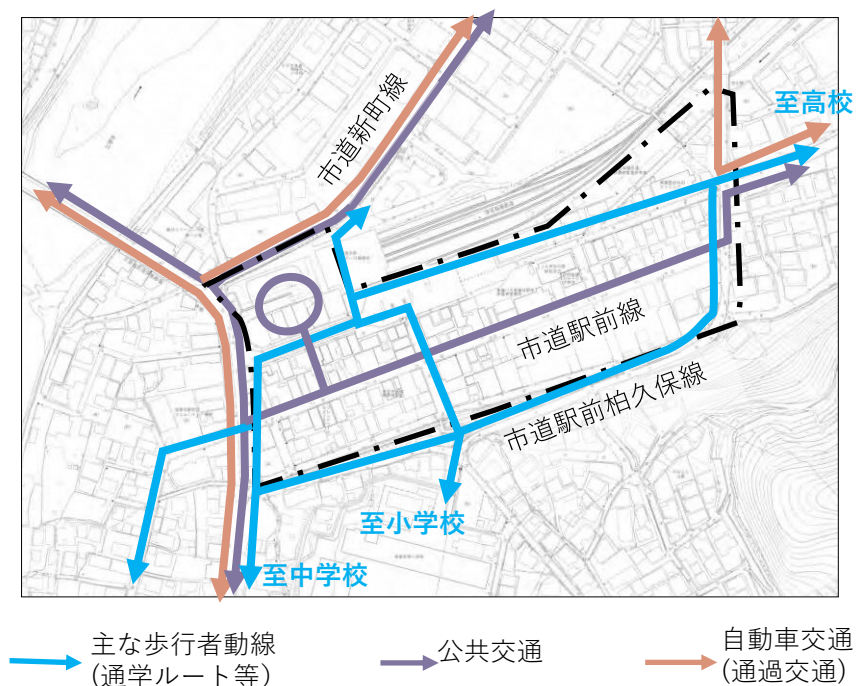
整備案	道路整備	・ 新町交差点〔（主）熱海大仁線と市道新町線〕改良 → 近隣地区との円滑な交通処理 ・ 市道駅前線の拡幅（建替え連動型）、歩道の整備
	公共交通広場等	・ 市道駅前中通り線の一部廃止、バス・タクシー乗り場の適正配置（現西口広場＋隣接地） ・ 駅南口の歩行者広場の整備 ・ 市道駅前中通り線の南北街区の再編、建物の移転・集約、共同建替え
	信号・交差点	・ 修善寺駅入口交差点の廃止
整備効果		・ 鉄道と連続したバス・タクシー乗り場整備による利便性・快適性の向上 ・ 駅南街区の歩行者空間の拡大と共同建替えと合わせた新機能導入や賑わい創出 ・ 信号、交差点の廃止による渋滞原因の削減
実現上の課題		・ 市道駅前中通り線沿道地権者の意向調査、合意形成が必要 ・ 公共交通事業者（鉄道、バス、タクシー）の合意形成と費用負担の整理 ・ 市の財政負担大 → 工区分け、実施段階での事業規模の再検証

中長期（修善寺橋の改良（拡幅）と同時期）のまちづくり構想図

（主）熱海大仁線 新町交差点の改良



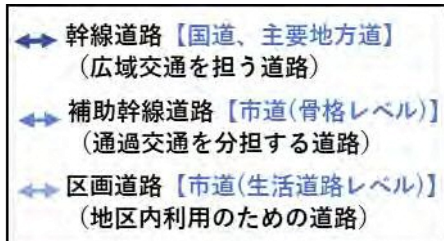
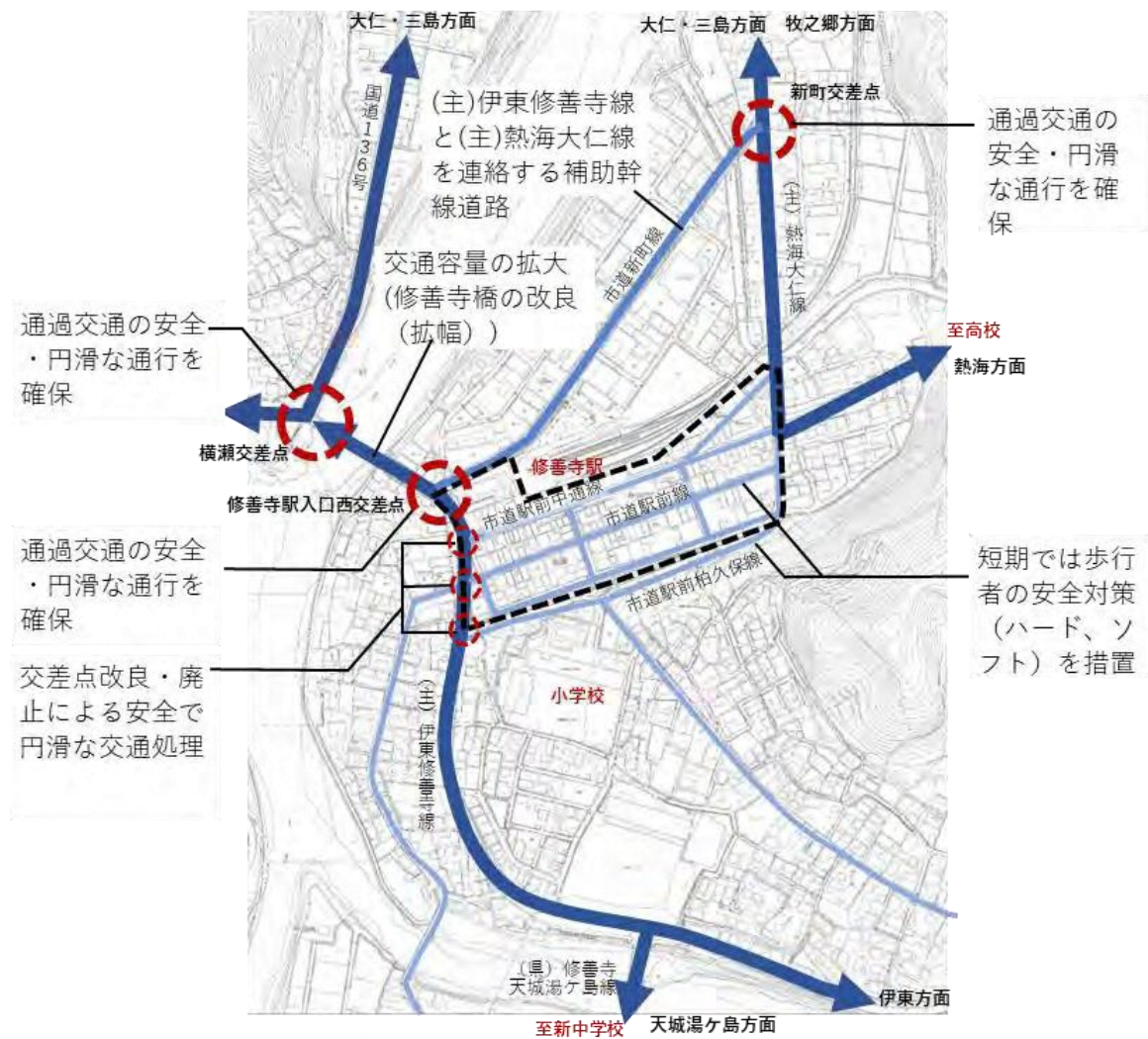
道路の役割分担の考え方



3 周辺も含めた道路・交通のあり方

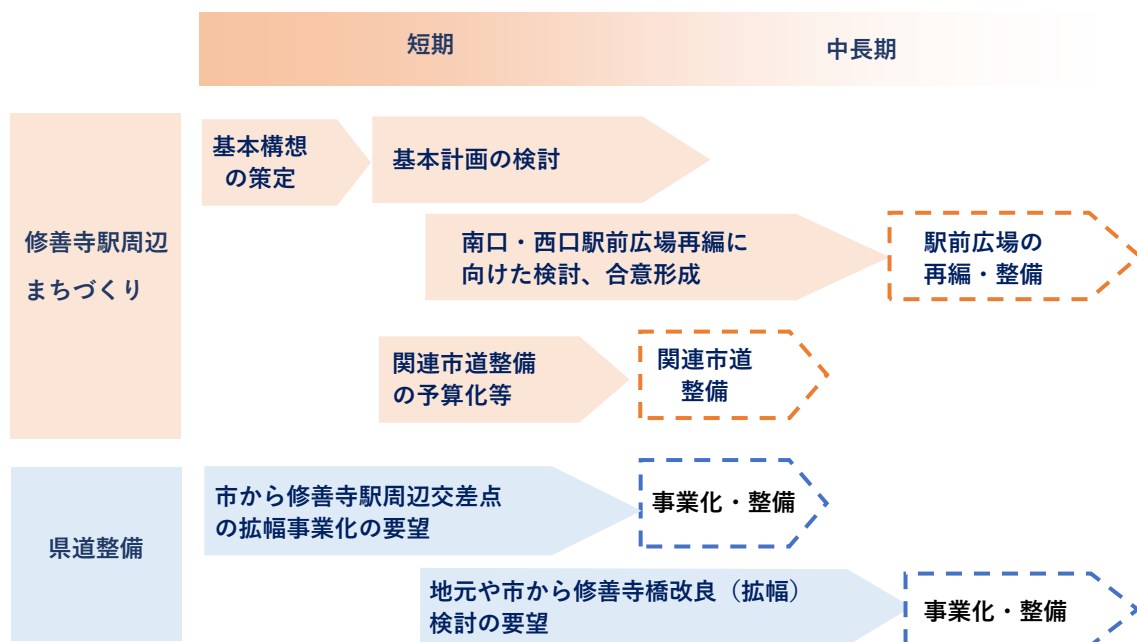
- ・ 修善寺駅周辺の渋滞解消や交通環境改善に向け、広域的な交通ネットワーク（三島、伊東、下田方面）を踏まえて、道路の段階構成に応じた整備を、短期と中長期で進めていきます。

段階構成	役割	対象道路と整備の考え方
幹線道路	広域交通を担う道路	・ 国道 136 号、（主）伊東修善寺線、（主）熱海大仁線とし、伊豆半島の東西方向、南北方向の交通が円滑に通行できるよう、横瀬交差点に起因する渋滞の解消のための道路拡幅や新町交差点の改良等の対策を講じる。
補助幹線道路	通過交通を分担する道路	■ 短期（修善寺橋改良（拡幅）まで） ・ 駅北側の市道新町線を基本とし、修善寺駅入口西交差点はバス等の大型車両が円滑に通行できるよう改良する。 ※ 駅南側の市道駅前線、市道駅前柏久保線に進入する通過交通から歩行者を守るための対策(ハード、ソフト)を講じる。 ■ 中長期（修善寺橋改良（拡幅）と同時期） ・ 駅北側の市道新町線とし、新町交差点は、バス等の大型車両が円滑に通行できるよう改良する。
区画道路	地区内利用のための道路	・ 交通広場に至る市道駅前中通り線は、公共交通を優先する。 ・ 上記以外の道路は、安全性を高めるため速度抑制や交差点の注意喚起を行う。



4 今後の進め方

- ・ 本基本構想を策定した後、整備形態や交通規制等について交通シミュレーション等の技術的検討を行い、基本計画を策定します。並行して、駅前広場の再編に向けた検討や合意形成を進めていきます。
- ・ （主）伊東修善寺線や修善寺橋の改良（拡幅）について、県への要望と関連する市道整備の予算化等を進めます。



< 参考資料 >

修善寺駅前地区まちづくりワークショップ参加者の構成

	参加者
住民	駅前区民(11名)
地域団体	伊豆市商工会 伊豆市観光協会修善寺支部
地元企業	三島信用金庫 修善寺支店 さんしんキャピタル株式会社 スルガ銀行 修善寺支店 富士伊豆農業協同組合 修善寺支店 AMSTEC 株式会社 株式会社不二商事
交通事業者	株式会社東海バス 伊豆箱根バス株式会社 伊豆箱根交通株式会社
大学	日本大学理工学部(大沢昌玄教授、学生8名)
伊豆市	総合政策部 企画財政課 総合政策部 地域づくり課 総務部 資産経営課 産業部 観光商工課 建設部 用地管理課 建設部 建設課 教育部 学校教育課

オブザーバー

静岡県 沼津土木事務所	企画検査課 都市計画課 修善寺支所
----------------	-------------------------

事務局

伊豆市	建設部 都市計画課
受託事業者	(株)都市環境研究所

修善寺駅前地区まちづくりワークショップ及び地元説明会の開催経緯

	開催時期	会場
第1回ワークショップ	令和4年12月8日(木)19時～	修善寺駅前区 コミュニティー会館
第2回ワークショップ	令和5年2月2日(木)19時～	
第3回ワークショップ	令和5年3月2日(木)19時～	
まちづくり構想案 地元説明会	令和5年6月8日(木)19時～	
	令和5年6月11日(日)15時～	